ウイズ通信

NO.８０号

令和８年１０月号

年間目標
「自分の仕事をしよう」



秋祭り

10月3日(土)　今年も秋祭りが開催されました。今年は、昨年よりもたくさんの方にご来場いただきました。フランクフルトやから揚げやジュース等の模擬店も大盛況でした。
イベントステージでは、AKUtaRe:団の方と一緒に「夢をかなえてドラえもん」を歌い、楽しい時間を過ごすことが出来ました。
今年もたくさんの方々にご協力いただき、無事に、素敵な秋祭りを開催することが出来た事を嬉しく思います。



創作活動

10月22日の創作活動では、秋のカレンダー作りを行いました。キノコのイラストに好きな色のポイントシールを自由に貼り、一人ひとり個性豊かなキノコが完成！その後、木の周りにキノコを貼り付け、秋らしい素敵なカレンダーが出来上がりました。完成した作品を前に、皆さん笑顔で記念撮影を楽しまれていました。





今月の給食





・ご飯
・麻婆茄子
・大根
　わかめ酢
・切干大根煮
・味噌汁

・ご飯
・ミックスフライ
　野菜添え
・こんにゃく煮
・わかめ酢
・吸物

外出報告

・10月5日　月曜日
　海南ノビノス
毛見・久保・平岡・前田空
※敬称略





11月の活動内容

【日常生活訓練】
　洗濯物の畳み方
【創作活動】
　クリスマスカレンダー
【運動レクリエーション】
　わなげ

10月の誕生日

古田　雄一朗さん

中村　晴香さん



研修報告

研修名：令和8年和歌山県知的障害者福祉協会　権利擁護・虐待防止研修
日時：令和8年９月30日（水）
受講者：三瀬有美・林麻衣
　和歌山県知的障害者福祉協会主催の「権利擁護・虐待防止研修」に参加しました。
研修では、障害者虐待防止法や身体拘束の適正化、虐待防止体制の整備と運営について学びました。また、北摂杉の子会の取り組みを通して、利用者一人ひとりの権利を守り、安心して生活できる環境を整えることの大切さについて理解を深めました。
日々の支援の中では、職員にとっては良かれと思って行っていることでも、利用者本人の気持ちや意思を十分に確認できていない場合があります。そのため、支援する側の考えだけで判断するのではなく、利用者一人ひとりの思いや気持ちを大切にし、その人に合った支援を考えていくことが重要だと改めて感じました。
今回の研修を通して、利用者の権利や尊厳を守ることは、日々の何気ない関わりの中にもあることを再認識しました。これからも職員同士で学び合い、支援を振り返りながら、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して自分らしく過ごしていただける支援を目指していきたいと思います。

研修名：クレーム・苦情対応研修・リスクマネジメント研修
日時：令和8年10月1日（木）
受講者：ウイズ職員（山本・田中・林・藤井）
　クレーム・苦情対応研修では、基本的な対応について、学び、利用者・家族からの意見や要望を適切に受け止め、今後の支援に繋げていく事について考えました。苦情や要望を支援をより良くするための大切な情報として真摯な対応をする事で信頼関係に繋げていけるようにしていけたら改めて感じる事ができました。
　リスクマネージメント研修では、日々の支援の中にある小さな違和感やヒヤリ・ハットに目を向け、「気づく・伝える・明日からどうする？」を意識して。事故やトラブルの予防に繋げる事について考えました。個人ワークやグループでの共有をし、「いつものこと」と捉えてしまう事で、小さな変化やリスクを見逃す可能性がる事、職員からの気づきを一人で終わらせず、チームで共有する事の大切さをについて再度確認する事ができました。